

NS型ネオスパン
(イソシアレート品)下地・工法
RC造
金属胴縁工法留付方法
ビス張り方向
横・縦胴縁組
606mm以下

1) 基本構成図

16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

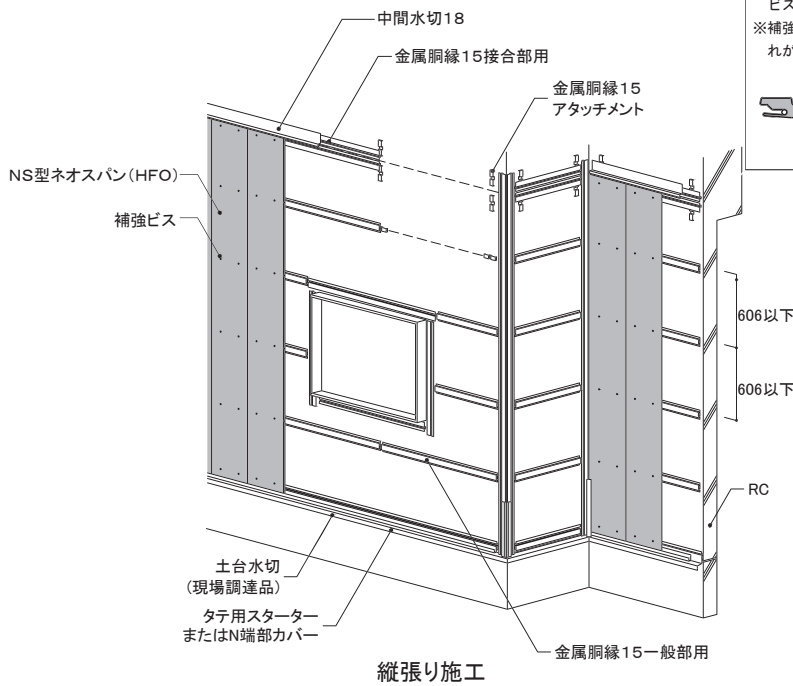
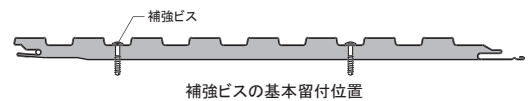
- NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。
- 金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

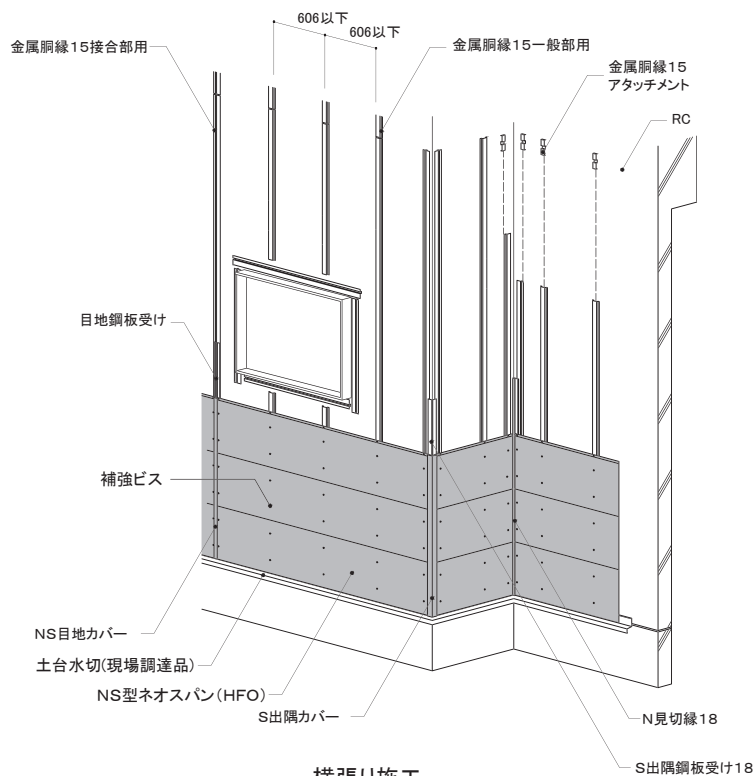
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

※補強工法ではNS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスを施工してください。先に一面を張り上げ、後から補強ビスを施工すると、下地が見えないため、打ち外しやアタッチメント固定アンカー、胴縁固定ビスへの干渉による施工不具合を招きます。

※補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスにぶつかるおそれがある場合は、補強ビスの留め付け位置をずらして施工してください。



縦張り施工



横張り施工